

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 23 年 5 月 19 日 (2011.5.19)

【公表番号】特表 2010-524298 (P2010-524298A)

【公表日】平成 22 年 7 月 15 日 (2010.7.15)

【年通号数】公開・登録公報 2010-028

【出願番号】特願 2010-500968 (P2010-500968)

【国際特許分類】

H 0 4 N 1/41 (2006.01)

H 0 4 N 7/26 (2006.01)

H 0 3 M 7/30 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 1/41 B

H 0 4 N 7/13 Z

H 0 3 M 7/30 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 23 年 3 月 17 日 (2011.3.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

画像のセットについて平均の圧縮データレートを達成するために連続したデジタル画像のセットを圧縮する方法であって、

(a) 閾値となる観察距離及び所望の平均圧縮データレートを指定するステップと、

(b) 連続した画像のセットから小さな画像のサブセットを選択するステップと、

(c) 圧縮パラメータを計算するための入力として閾値となる観察距離を利用するステップと、

(d) 圧縮データを生成するため、前記圧縮パラメータにより前記小さな画像のサブセットを圧縮するステップと、

(e) 前記小さな画像のサブセットについて、平均の圧縮データレートを計算するステップと、

(f) 前記小さな画像のサブセットの前記平均の圧縮データレートを前記所望の平均の圧縮データレートに比較するステップと、

(g) 前記小さな画像のサブセットの前記平均の圧縮データレートが前記所望の平均の圧縮データレート以下である場合、前記小さな画像のサブセットを再び圧縮することなしに前記小さな画像のサブセットについて使用された圧縮パラメータを使用して、前記小さな画像のサブセットにない前記画像のセットから残りの画像を圧縮するステップと、

(h) 前記小さな画像のサブセットの前記平均の圧縮データレートが前記所望の平均の圧縮データレートよりも大きい場合、前記閾値となる観察距離を変更して、前記ステップ c) からステップ h) を繰り返すステップと、

を含むことを特徴とする方法。

【請求項 2】

前記小さな画像のサブセットを通した第一の圧縮パス後に前記ステップ h) の前記閾値の観察距離を変更するステップは、前記平均の圧縮データレート及び前記閾値の観察距離を使用して、レート歪み関数について推定される傾斜を決定し、前記推定される傾斜を使

用して、前記所望の平均の圧縮データレートを達成する変更された閾値の観察距離を計算するステップを更に含む、
請求項 1 記載の方法。

【請求項 3】

連続する画像のセットの一定の知覚される画質を達成するために圧縮データの量を最小化しつつ、連続する画像のセットの一定の知覚される画質を実現する JPEG2000 可変ビットレート (VBR) 圧縮方法であって、

- (a) 閾値となる観察距離及び所望の平均圧縮データレートを指定するステップと、
 - (b) 連続した画像のセットから小さな画像のサブセットを選択するステップと、
 - (c) 圧縮パラメータを計算する量子化ステップサイズのジェネレータへの入力として閾値となる観察距離を利用するステップと、
 - (d) 圧縮データを生成するため、前記圧縮パラメータにより前記小さな画像のサブセットを圧縮するステップと、
 - (e) 前記小さな画像のサブセットについて、平均の圧縮データレートを計算するステップと、
 - (f) 前記小さな画像のサブセットの前記平均の圧縮データレートを前記所望の平均の圧縮データレートに比較するステップと、
 - (g) 前記小さな画像のサブセットの前記平均の圧縮データレートが前記所望の平均の圧縮データレート以下である場合、前記小さな画像のサブセットを再び圧縮することなしに前記小さな画像のサブセットについて使用された圧縮パラメータを使用して、前記小さな画像のサブセットにない前記画像のセットから残りの画像を圧縮するステップと、
 - (h) 前記小さな画像のサブセットの前記平均の圧縮データレートが前記所望の平均の圧縮データレートよりも大きい場合、前記閾値となる観察距離を変更して、前記ステップ c) からステップ h) を繰り返すステップと、
- を含むことを特徴とする方法。